

(本発表のお問い合わせ先)  
美術館美術課  
広報資料取扱主任: 牧野裕二  
電話 823-1711

## 【市長定例記者会見】特別展「宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO」の開催について

日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良(うのあきら／1934-)。1960年代の日本において、「イラストレーション」「イラストレーター」という言葉を広め、時代を牽引してきたレジェンドでありながら、常に進化を続けています。その創作は、イラストレーション、ポスター、絵本、書籍、アニメーション映画、絵画、舞台美術など多岐におよび、1950年代初めのデビュー以来、活動の範囲は限りなく広がっています。

本展は、宇野亞喜良の初期から最新作までの全仕事を網羅する、過去最大規模の展覧会です。1950年代の企業広告をはじめ、1960年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画など、多彩で貴重な原画や資料等を紹介しします。“魅惑のサウスポー”から生み出される、時代を超越した宇野亞喜良の華麗で耽美な創作世界に迫ります。

会 期：令和8年4月18日(土)～6月14日(日)

休 館 日：月曜日(ただし、5月4日(月・祝)開館、5月7日(木)休館)

◎展示構成や関連イベントなど詳細は、別紙開催要項を御参照ください。

### ■添付資料：

- ・開催要項
- ・チラシ



左：「三井信託銀行」ポスター 1971年 ©AQUIRAX

中：「Renaissance Collection」(マックスファクター)ポスター 1965年頃 刈谷市美術館蔵 ©AQUIRAX

右：『母の友』(1964年9月号)表紙原画 1964年 刈谷市美術館蔵 第135号、福音館書店 ©AQUIRAX



日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良(うのあきら、1934-)。1960年代の日本において、「イラストレーション」「イラストレーター」という言葉を広め、時代を牽引してきたレジェンドでありながら、常に進化を続けています。その創作は、イラストレーション、ポスター、絵本、書籍、アニメーション映画、絵画、舞台美術など多岐におよび、1950年代初めのデビュー以来、活動の範囲は限りなく広がっています。

本展は、宇野亞喜良の初期から新作までの全仕事を網羅する、過去最大規模の展覧会です。1950年代の企業広告をはじめ、1960年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画など、多彩で貴重な原画や資料等を紹介します。“魅惑のサウスポー”から生み出される、時代を超越した宇野亞喜良の華麗で耽美な創作世界に迫ります。

## 宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO

主催：高松市美術館、朝日新聞社

特別協力：刈谷市美術館

会期：2026年4月18日(土)～6月14日(日)

休館日：月曜日(ただし、5月4日(月・祝)開館、5月7日(木)休館)

開館時間：9：30～17:00(ただし、金曜日、土曜日は19:00閉館／入室は閉館30分前まで)

入場料：【一般】1,200円(960円)、【大学生】600円(480円)、【高校生以下】無料

※( )内は前売、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて4月17日(金)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

## 関連イベント

### 記念講演会

#### 「宇野亞喜良展—その魅力をめぐって」

4月18日(土)13:30~15:00 (13:15開場)

講師：松本育子(刈谷市美術館館長代理・本展監修者)

会場：1階講堂

定員：先着100名 申込不要

参加費：無料

### 記念コンサート

#### 「黒色すみれ演奏会 tribute to AQUIRAX!!!」

6月7日(日)14:00~ (1時間程度)

出演：黒色すみれ(音楽ユニット)

会場：1階エントランスホール

観覧料：無料・予約不要

内容：宇野亞喜良が美術や衣装を手掛けた舞台作品で音楽を担当している音楽デュオ・黒色すみれ。クラシック、歌謡曲などをベースに生み出される魅惑の音楽にご期待ください！

### ギャラリートーク

学芸員：4月19日(日)14:00~

ボランティアcivi：会期中の日曜・祝日(ただし4月19日、6月7日を除く)各14:00~

会場：2階展示室 ※要観覧券・申込不要

### エントランス・ミニコンサート

#### 「音の旅に出かけよう」

5月16日(土)13:30~14:00

出演：大山晃、大山まゆみ ほか

会場：1階エントランスホール

無料・申込不要

曲：吉松隆、一柳慧、武満徹らによる現代音楽



①「三井信託銀行」ポスター 1971年 ©AQUIRAX



②『きんのおの』原画 2017年  
著：蜂飼耳、岩崎書店 ©AQUIRAX

#### ◎広報画像の提供について

- ・当プレスリリース掲載の画像は、展覧会広報用に提供可能です。
- ・画像ご利用の際は、広報担当者もしくは展覧会担当者まで、媒体名、掲載時期、画像番号をお知らせください。
- ・掲載の際は、画像の下に記載しているキャプション及びクレジットの記載をお願いします。
- ・使用目的は本展のご紹介のみに限ります。
- ・使用後、画像データは速やかに破棄してください。画像データの保存および第三者への提供は禁止します。
- ・トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更、二次使用は禁止します。
- ・掲載紙は、展覧会担当者宛に1部御送付をお願いします

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

## ◆本展のみどころ

### 史上最大規模のスケールで、宇野亞喜良の全貌を紹介！

宇野の仕事を振り返る大規模個展は、2010年刈谷市美術館で開催されて以来となります。数多くの原画や各種資料により、膨大な宇野の仕事の全貌に迫ります。

### 繊細で華麗な原画を多数展示。

確かな描写力による繊細で華麗なデッサンや、校正紙に書き込まれた細やかな指示にみられるデザインへのこだわりなど、作者の息遣いが伝わってくるような、原画ならではの鑑賞をお楽しみください。

### ポスターと舞台美術。

1960年代の初期から現在にいたるまでの、時代を彩った宇野による迫力ある大型ポスターの数々を一堂に展示します。また、宇野が描いた舞台や衣装の原画、実際に制作にも携わった大道具や小道具、人形、衣装など、これまであまり展示する機会がなかった、宇野の舞台美術の仕事もまとまったかたちで紹介します。

### 拡大し続ける宇野の表現世界—近作・新作の展示。

宇野は2000年以降においても、著名なロックバンドや歌手のポスターやCDジャケット、若い女性をターゲットとした企業とのコラボレーションなど、新しい世代とも関りながら、その表現世界を拡大し続けています。2000年以降の近作・新作を原画等により紹介します。

## 【展示構成】

宇野の幅広い仕事を、12のトピックでジャンルごとに紹介します。

### 【1】プロローグ 名古屋時代

学生時代に描いたスケッチやクロッキーなど、創作初期の作品を紹介します。宇野は、毎日新聞社主催のデザインコンペで入選を重ね、19歳でグラフィックデザイナーの登竜門だった日本宣伝美術会(日宣美)で入選を果たすなど、早くからデザイナーとしての才能を開花させていました。

### 【2】グラフィックデザイナー 宇野亞喜良

上京後、宇野はグラフィックデザイナーとして華々しい躍進を始めます。宇野がデザインしたたばこのパッケージや、カルピス食品工業の新聞広告の貴重な原画などを紹介します。



③

「カルピス」(カルピス食品工業)広告原画  
1956年頃 刈谷市美術館蔵  
©AQUIRAX

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

### 【3】企業広告

宇野は数々の広告制作の現場に携わりました。所属していた日本デザインセンターでは、東芝やトヨタ自動車などの企業広告を担当。旭化成工業「カシミロン」を題材とするポスターは第10回日宣美展で会員賞を受賞しました。また、化粧品会社マックスファクターの広告シリーズも手掛けています。

### 【4】アニメーション映画

1960年代、宇野は『白い祭』、『お前とわたし』、『午砲ドン』という3本の短編アニメーション映画を発表しています。本展では、それら3本のアニメ作品を全て上映します。

### 【5】ポスター

宇野は、現在に至るまで膨大な数のポスターを手掛けています。豊富な印刷知識と描写力が存分に発揮された、独特のファンタジーやエレガンス、エロティシズムが漂う宇野らしい世界観を感じられるポスターを一挙に展示します。

### 【6】絵本・児童書

現在までに宇野は、70冊余りの絵本を手掛け、多くの児童書にも携わっています。『どうぶつえとおはなし』(1957年頃)や『青い鳥』(1957年頃)、横尾忠則と企画した『海の小娘』(1962年)、今江祥智との『あのこ』(1966年)など、愛らしい動物から大人びた少女まで、物語や著作によって自由自在に画法を変え、バリエーション豊かな絵本や児童書を生み出しています。



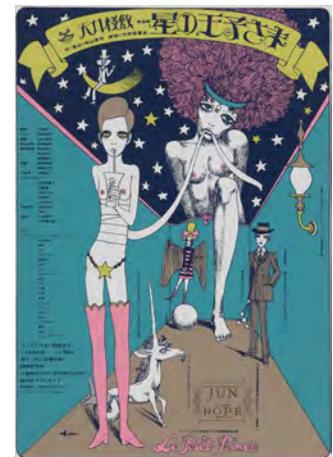
④「スタジオRe」ポスター  
1965年 ©AQUIRAX



⑤「Renaissance Collection」  
(マックスファクター)ポスター  
1965年頃 刈谷市美術館蔵  
©AQUIRAX



⑥「ミケランジェロの言葉」  
ポスター 1968年  
©AQUIRAX



⑦演劇実験室◎天井棧敷公演  
『星の王子さま』ポスター  
1968年 ©AQUIRAX



⑧『あのこ』原画 1966年 著：今江祥智、理論社 ©AQUIRAX

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

## 【7】 版画集・作品集

1970年代から80年代にかけて、過去の様式を求めるクライアントの仕事に辟易し、制作活動をセーブしていた宇野は、自分の表現スタイルをあらためて見直すための版画集や作品集を出版しました。この頃の作品は、輪郭線を活かしつつ淡く着彩された裸婦像など、リアリティーのある肉体表現を特徴とし、独特のエロティシズムを感じさせます。

## 【8】 新聞・雑誌

新聞や雑誌の仕事は長期に携わっており、膨大な数、そしてエロスからメルヘンにいたるまで表現の幅が広いジャンルです。記事の内容、著者の嗜好、印刷の仕様などにも目配りし作風や画材を使い分ける柔軟性によって、振幅のあるイラストレーションが作り出されています。



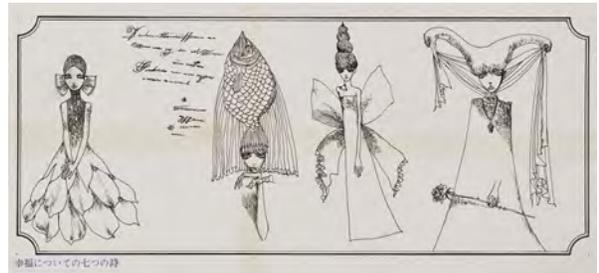
⑨「活路」『週刊現代』(1994年7月30日号)原画  
1994年 刈谷市美術館蔵  
著：北方謙三、第36巻第28号、講談社 ©AQUIRAX



⑩『母の友』(1964年9月号)  
表紙原画 1964年  
刈谷市美術館蔵 第135号、  
福音館書店 ©AQUIRAX

## 【9】 書籍

1960年代から現在にいたるまで、宇野は書籍の装幀も数多く手掛けています。グラフィックデザイナー出身の宇野にとって、書籍の仕事はイラストレーションに加えて、造本や装幀のおもしろさを体感できる表現領域であり、本という存在を好む宇野にとっては、飽くことなく創作意欲がかき立てられる場と言えます。



⑪「ことわざはお好き？」  
『恋する魔女(For Ladies)』  
口絵原画 1966年  
著：立原えりか、新書館  
©AQUIRAX

⑫「バラード＝縦の木と話した」  
『はだしの恋唄(For Ladies)』  
原画 1967年 刈谷市美術館蔵  
著：寺山修司、新書館 ©AQUIRAX

⑬「幸福についての七つの詩」  
『ひとりぼっちのあなたに(For Ladies)』原画  
1965年 刈谷市美術館蔵 著：寺山修司、新書館 ©AQUIRAX

## 【10】 絵画・立体作品

1987年の個展を機に、展示空間を作るおもしろさを実感した宇野は、現在に至るまで毎回テーマを決めて個展を開催しています。クライアントのある仕事とは異なり、個展はモチーフや表現スタイルに制約されることがなく、自分ですべて決められる自由さが醍醐味と宇野は言います。2000年代には、石粉粘土で制作した人型のオブジェも制作しています。

⑭《餃子姫》2013年 ©AQUIRAX



プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

## 【11】 舞台美術

宇野は、舞台装置や衣装、メイク、演出や脚本に至るまで、演劇全体の総合的なプロデュースも行っています。特に1990年代以降は、集中的に演劇舞台に携わるようになりました。宇野が手がける舞台美術は、二次元の平面で見ていた宇野の世界がそのまま空間にあらわれるかのような魅力を放っています。



⑮ Project Nyx  
第4回公演『星の王子さま』  
舞台原画 2009年 ©AQUIRAX



⑯ Project Nyx  
第4回公演『星の王子さま』  
衣装原画 2009年 ©AQUIRAX

## 【12】 近作・新作

俳句に親しみ「左亭」の俳号を持つ宇野は、近年、松尾芭蕉や寺山修司らが詠んだ句をテーマとした新作を描き続けています。また、SHAKALABBITS や、BUCK-TICK、椎名林檎らのポスターやグッズ、さらに資生堂「マジヨリカ マジヨルカ」の似顔絵ジェネレーター「マジヨリ画」(2016年)など、さまざまなクリエイターや企業と活発にコラボレーションするなど、宇野の描き出す世界は現在でも幅広い世代やジャンルの人々から支持を得、創作の勢いは留まることはありません。

⑰ 《龍の落とし子》2020年 ©AQUIRAX



## ◆作家略歴

### 宇野亞喜良

(うの・あきら／イラストレーター・グラフィックデザイナー)

1934年愛知県名古屋市生まれ。名古屋市立工芸高等学校図案科卒業。1955年上京。カルピス食品工業、日本デザインセンター、スタジオ・イルファイル、スタジオReを経てフリーランス。1950年代から企業広告や演劇ポスター、絵本を手がけるようになり、鬼才のイラストレーターとして活動を開始。1960年代末には演劇実験室・天井桟敷などのアングラ演劇ポスターや舞台美術を担当するなど、一躍時代の寵児として脚光を浴びる。1990年代からは展覧会のキュレーションや舞台の美術監督を務め、近年は俳句とのコラボレーションを発表するなど、現在も多彩な分野で活躍。主な著作に、『宇野亞喜良マスカレード』(美術出版社、1982年)、『薔薇の記憶』(東京書籍、2000年)、『奥の横道』(幻戯書房、2009年)、『宇野亞喜良クロニクル』(グラフィック社、2014年)。絵本に『あのこ』(文・今江祥智、理論社、1966年)、『ぼくはへいたろう』(文・小沢正、福音館書店、1994年)、『マイマイとナイナイ』(文・皆川博子、岩崎書店、2011年)などがある。刈谷市美術館、Bunkamuraギャラリー、ギンザ・グラフィック・ギャラリーほか、個展多数。1956年日宣美展特選、1960年日宣美展会員賞、1982年講談社出版文化さしえ賞、1989年サンリオ美術賞、1992年赤い鳥さし絵賞、2008年日本絵本賞、2013年全広連日本宣伝賞山名賞、2015年読売演劇大賞選考委員特別賞等を受賞。1999年紫綬褒章、2010年旭日小綬章受章。



⑱ 宇野亞喜良ポートレート  
photo: 大童鉄平

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 電話087-823-1711 ファックス087-851-7250

展覧会担当：牧野裕二 yuji\_6348@city.takamatsu.lg.jp 高見翔子 shoko\_11801@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp



# 宇野 亞喜良 展

2026  
4.18 SAT  
6.14 SUN

高松市美術館  
TAKAMATSU ART MUSEUM

開館時間=9:30~17:00

(ただし、金曜日、土曜日は19:00閉館/入室は閉館30分前まで)

休館日=月曜日(ただし、5月4日(月・祝)開館、5月7日(木)休館)

観覧料=一般 1,200円(960円)、大学生 600円(480円)

高校生以下無料

※( )内は前売、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、

ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて

4月17日(金)まで販売

(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)

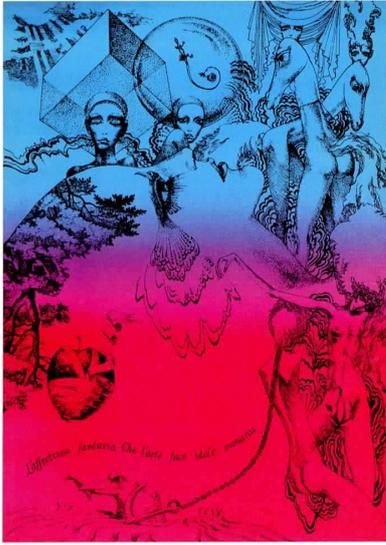
主催：高松市美術館、朝日新聞社

特別協力：刈谷市美術館

YOUNG  
OUR  
SAX  
UNO

日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良（うのあきら／1934）。1960年代の日本において、「イラストレーション」「イラストレーター」という言葉を広め、時代を牽引してきたレジェンドでありながら、常に進化し続けています。その創作は、イラストレーション、ポスター、絵本、書籍、アニメーション映画、絵画、舞台美術など多岐におよび、1950年代初めのデビュー以来、活動の範囲は限りなく広がっています。

本展は、宇野亞喜良の初期から最新作までの全仕事を網羅する、過去最大規模の展覧会です。1950年代の企業広告をはじめ、1960年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画など、多彩で貴重な原画や資料等を紹介します。“魅惑のサウスポー”から生み出される、時代を超越した宇野亞喜良の華麗で耽美的な創作世界に迫ります。



# 宇野亞喜良展

## AQUIRAX UNO

### 関連イベント

#### 記念講演会

「宇野亞喜良展—その魅力をめぐって」

4月18日(土) 13:30～15:00 (13:15開場)

講師：松本育子

(刈谷市美術館館長代理・本展監修者)

会場：1階講堂

定員：先着100名 申込不要

参加費：無料

#### 記念コンサート

「黒色すみれ演奏会 tribute to AQUIRAX!!!」

6月7日(日) 14:00～(1時間程度)

出演：黒色すみれ(音楽ユニット)

会場：1階エントランスホール

観覧料：無料・予約不要

内容：宇野亞喜良が美術や衣装を手掛けた舞台作品で音楽を担当している音楽デュオ・黒色すみれ。クラシック、歌謡曲などをベースに生み出される魅惑の音楽にご期待ください!

#### ギャラリートーク

学芸員：4月19日(日) 14:00～

ボランティアcivi：会期中の日曜・祝日(ただし4月19日、6月7日を除く) 各14:00～

会場：2階展示室 ※要観覧券・申込不要

#### エントランス・ミニコンサート「音の旅に出かけよう」

5月16日(土) 13:30～14:00

会場：1階エントランス・ホール 無料・申込不要

出演：大山晃、大山まゆみほか 曲：吉松隆、一柳慧、武満徹らによる現代音楽

1.「ミケランジェロの言葉」ポスター 1968 2. Project Nyx 第4回公演「星の王子さま」衣装原画 2009 3.「三井信託銀行」ポスター 1971 4.「きんのおの」原画 2017 5.「バラード=樺の木と話した『はだしの恋唄 (For Ladies)』原画 1967 6.「ことわざは好き?『恋する魔女 (For Ladies)』口絵原画 1966 7.《餃子姫》2013 8.活路『週刊現代』(1994年7月30号)原画 1994 5、8刈谷市美術館蔵 ©AQUIRAX

#### ■コレクション展1

4月4日(土)～6月28日(日)

会場：1階常設展示室

※宇野亞喜良展観覧券をご覧ください。

#### ■コケシスキー「ストリートビュー」

4月21日(火)～7月26日(日)

会場：ランチギャラリー

(高松丸亀町商店街

「しごとプラザ」ショーウィンドー)

#### ■次回特別展

ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界

7月18日(土)～9月23日(水・祝)

**TAKAMATSU ART MUSEUM**

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel:087-823-1711

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>



交通のご案内

- JR四国：高松駅下車、徒歩約15分
- ことでん：瓦町駅または片原町駅下車、徒歩約10分
- 路線バス：紺屋町または丸亀町参番街下車、徒歩約3分
- 高速バス：県庁通り下車、徒歩約8分

- 駐車場：美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車約144台収容)
- ※駐車場の混雑状況については「どこ駐車ナビ高松」で確認いただけます。



(本発表のお問い合わせ先)  
交通政策課  
広報資料取扱主任: 國方 利美  
電話 087-839-2138

## 【市長定例記者会見】レンタサイクル事業の見直しに向けたシェアサイクル実証事業期間の延長について

本市では、民営化も含め、レンタサイクル事業の見直しを検討するため、令和7年4月からシェアサイクルサービスの実証事業を実施しています。

このたび、需要や課題の更なる把握、分析を行うため、シェアサイクルの車両台数を増加させた上で、実証事業の期間を延長することとしましたので、お知らせします。

### 1 実証事業の延長期間

令和8年4月1日(水)から令和9年3月31日(水)まで(最大1年間延長)

### 2 事業規模の拡大

現在50台で運用している電動アシスト自転車について、令和8年度中に段階的に台数を増やし、最大100台を追加導入する予定です。

### 3 延長の理由

本市のレンタサイクル事業では、現在約850台の自転車を運用しておりますが、実証事業として導入しているシェアサイクルは50台であり、需要や課題の更なる把握・分析を行うために、車両台数を増加させた上で、期間を延長します。

なお、レンタサイクルについては、メーカーの撤退によりレンタサイクル専用バッテリーの再調達が不可能となっており、本年7月頃から、一時利用に供する車両台数の減少が見込まれています。

延長は最大で令和9年3月末までとしますが、このような状況を踏まえ、できるだけ速やかに見直しの方向性を検討します。

#### 4 現在の実証事業の状況

実証事業では、市民及び観光客の利用ニーズに対応しながら、一定の収益性を確保できる可能性が認められています。

また、ポートを設置している施設の管理者からも、実証事業の継続や車両台数の増加を求める声が寄せられています。

さらに、本市では、現在の連携事業者に加え、市内でシェアサイクルサービスを提供している事業者とも意見交換を行っています。

##### 【運用中のステーション】

高松オルネ北地下ポート【ゲート付き】、瓦町地下（高松常磐町商店街前）ポート【ゲート付き】、高松駅高速バスターミナル前ポート、高松駅親切な青鬼くん前ポート、うみまち商店街ポート、玉藻公園西ポート、高松市美術館地下駐輪場内ポート、四国村バス停前ポート、JR屋島駅ポート、高松パークビル（中野町）ポート、屋島山上観光駐車場内ポート、とでん伏石駅前ポート、イオンモール高松ポート、ナイスタウン本社ビルポート

(本発表のお問い合わせ先)  
交通政策課  
広報資料取扱主任: 國方 利美  
電話 087-839-2138

## 【市長定例記者会見】高松市立駐車場の再編について

本市では、「高松市駐車対策基本計画」に基づき、令和8年度末で廃止予定としている南部駐車場について、施設に含有されているPCBの処分期限等を踏まえ、令和8年12月20日(日)22時から使用停止、また、南部駐車場の廃止に伴う代替機能を確保するため、瓦町駅地下駐車場の営業時間を、令和8年9月1日(火)から24時間へ延長することとしましたので、お知らせいたします。

- 1 南部駐車場の使用停止日  
令和8年12月20日(日)22時から使用停止  
※入場制限を行い、駐車車両が全て出場した時点で施設を休止
- 2 使用停止の理由  
南部駐車場の営業に必要な設備にはPCBが含有されており、国の通達により、令和9年3月末までに撤去及び処分する必要があります。これらの撤去作業等に一定の期間を要することから、期限内に確実に対応するため、令和8年12月20日をもって使用停止とするものです。
- 3 瓦町駅地下駐車場の営業時間延長  
現行営業時間 7時30分～22時  
変更後 24時間営業  
開始時期 令和8年9月1日(火)
- 4 営業時間延長の理由  
24時間営業の南部駐車場の廃止に伴い、近隣で同様の時間帯に利用可能な駐車場を確保するものです。  
また、南部駐車場の定期利用者(令和7年度上半期実績では、全利用15,843台のうち4,694台、約3割)のうち、3か月定期の利用者も多いことから、利用者が円滑に他の駐車場へ移行できるよう、使用停止の約3か月前から瓦町駅地下駐車場の営業を24時間化するものです。